事例No.	2011
公表年度	R4
団体の属性	複数団体
団体名	静岡県・静岡県藤枝市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・AI ・ICT

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

市と県警が連携し、AIを活用した特殊詐欺防止対策を推進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

31 市と県警が連携し、AIを活用した特殊詐欺防止対策を推進【静岡県・静岡県藤枝市】

事業の概要

○ 藤枝市は、静岡県警察と協力して、AIが通話内容を解析し、詐欺が疑われる場合に電話やメールで登録者に知らせる「特殊詐欺対策サービス」の実証実験を行った。

○ 解析では、「還付金」、「ATM」といった実際に詐欺に使われている単語を検出し、詐欺の可能性を判断する。

○ 通話前に、電話を録音している旨のガイダンスが流れるほか、詐欺の疑いを判断した場合には、事前に登録した最大５件の連絡先に通報する。



【参考情報】 人口：368.6万人（静岡県）、14.4万人（藤枝市）
関連URL： ー

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

市内で、特殊詐欺被害が発生したことや、新型コロナウイルスワクチン接種に乗じた新たな詐欺の発生が心配されたため、市や警察、民間事業所が連携し、市内から特殊詐欺グループの撤退を狙った取り組みの一つとしてスタートしました。



（静岡県・静岡県藤枝市）



事業の近況を教えてください。

今回の実証実験から、不審な番号からの着信は、半数以上が録音ガイダンス中に相手が電話を切っていることから、詐欺被害防止として有効であると考えています。





住民の反応（声）はいかがですか？

実証実験の参加者から、「不審な電話が架かって来ない。」といった声が多く寄せられています。また、「月々の費用はかかるが、安心の保険料だと思えばいい。」「しつこいセールス電話が無くなった。」との声もいただいております。



★担当：静岡県警察本部 生活安全部生活安全企画課
：藤枝市市民協働部 交通安全・地域安全課 ★

令和3年度事業費 880千円